

本太中だより

第9号

平成31年1月8日
さいたま市立本太中学校
048(886)4305
<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>
E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

よき指導者

校長 加藤 明良

新年あけましておめでとうございます。毎日冬晴れが続く大変穏やかな年明けとなりました。平成が終わり新しい時代が始まることに期待するとともに、様々な社会的な変化にも学校として対応していきたいと思っています。

さて、年のはじめに当たりメジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手や西武ライオンズのエースで最近メジャーリーグのシアトルマリナーズに入団が決まった菊池雄星選手を育てた花巻東高校の監督佐々木洋氏、プロ野球日本ハムファイターズの監督栗山英樹氏のことを紹介します。佐々木監督は菊池選手、大谷選手ともに高校1年とき、目標設定シートを書かせました。このシートは大変特徴的なもので、9つのマスを中心に大きな目標を書き、それを達成するために必要な要素を周囲に書き込んでいくものです。菊池選手は高卒でメジャー入団、大谷選手は18球団からの指名と書かれていたそうです。佐々木監督は高校1年の時から将来に向けた大きな目標を設定させ、そのために何をすべきか常に意識させていたことがわかります。また、大谷選手は佐々木監督から学んだこととして、「ベンチ入りした20名はベンチに入れなかった仲間たちの分も全力でプレイする義務がある。ベンチ入りできても打席に立っていない仲間もいる。グラウンドに立ったものには全力で走り抜ける権利がある『義務と権利』その言葉を忘れるな」と言われたことを挙げています。

二人の選手とも高校卒業後、大学進学かプロ野球かそしてメジャーリーグへ直接行くか大いに悩みましたが、二人とも結果的に日本のプロ野球に進みます。メジャーリーグに決まりかけていた大谷選手を説得し、入団させたのが日ハムの栗山監督でした。栗山監督は批判されながらも大谷選手の投手と打者との二刀流を支援し続けたことでも有名です。大谷選手は栗山監督の下でなければ、二刀流として成長できなかったと言われています。栗山監督は「ぼくが監督として一番に考えるのは“どうすればこの選手を輝かせることができるのか、何がこの選手のためになるのか”ということです。親のように選手の可能性を信じ、将来を見据えたうえで今、ベストな選択を考えるのです」と語っています。やはり、スポーツ選手の活躍の陰には、素晴らしい指導者がいることを教えてくれます。もちろん、本人の資質能力や努力が一番なのですが、それを支える素晴らしい人たちが集まってくるともいえるのではないのでしょうか。

私たち教職員も生徒にとってよき指導者になるべく、本年も鋭意努力してまいりますので何卒よろしく願いいたします。

1・2月 行事予定

日 曜	1月行事予定		給食		
			1	2	3
1 火		冬季休業日 元日	×	×	×
2 水		冬季休業日	×	×	×
3 木		冬季休業日	×	×	×
4 金		冬季休業日	×	×	×
5 土			×	×	×
6 日		男子バレー1年生大会会場	×	×	×
7 月		諸経費引き落とし日(1~3月分)	×	×	×
8 火 A		始業式 大掃除 学活	×	×	×
9 水 A		さいたま市学習状況調査(全学年) 給食開始 清掃なし	○	○	○
10 木 A		学活+月①~⑤ アンケート(1校時) Ⅲ期試行 安全 点検日 PTA(本部会9:30~ 運営委員会10:30~)	○	○	○
11 金 A		水⑥金①②③④⑥ 館岩実委(10) 特別支援教育フェア	○	○	○
12 土 A		特 火⑤⑥+講座 土曜授業(5)(学校公開) 創立70周年記念ふれあい天文学講座	×	×	×
13 日			×	×	×
14 月		成人の日	×	×	×
15 火 B		心と生活のアンケート(3) 赤い羽根・書き損じはがき運動(~18)	○	○	○
16 水 B		特 シェイクアウト訓練(2) 生徒委員会	○	○	○
17 木 B		館岩実委(11) 館岩実委(8) 4校連絡協議会(10:00~ 本太中)	○	○	○
18 金 B		Ⅲ期時間割実施 ⑤2年事前指導(部活動なし)	○	○	○
19 土		食育の日	×	×	×
20 日		冬季大会(男テニス) 2年部活動原則なし	×	×	×
21 月 A		水①~⑥ 館岩自然の教室(1) ⑤私立入試前日注意	○	×	○
22 火 A		館岩自然の教室(2) 私立入試中心日 未来くる事前訪問(1年)	○	×	×
23 水 A		月①②③⑤④ 館岩自然の教室(3) 私立入試中心日 NO T・G	○	×	×
24 木 A		2年9:30~登校(2校時~朝練なし)	○	○	○
25 金 A		新入生保護者説明会	○	○	○
26 土			×	×	×
27 日		冬季大会(男テニス) 北(8)	×	×	×
28 月 B		木①~⑥	○	○	○
29 火 B		特	○	○	○
30 水 B		作品展関係(8組 ~2/3)	○	○	○
31 木 B		月①~⑤	○	○	○

日 曜	2月行事予定		給食		
			1	2	3
1 金 B			○	○	○
2 土			×	×	×
3 日			×	×	×
4 月 A		木①②③④⑥ 生徒委員会	○	○	○
5 火 A		火①②③④⑥⑤ 未来くるワーク(1) 三者面談(3年 1)	×	○	○
6 水 A		水①②④⑤⑥③ 未来くるワーク(2) 三者面談(3年 2)	×	○	○
7 木 A		月①~⑤+木⑤ 未来くるワーク(3) 三者面談(3年 3) PTA(本部会9:30~ 運営委員会10:30~)	×	○	○
8 金 A		三者面談(3年 4) 三送会実委(2)	○	○	○
9 土			×	×	×
10 日			×	×	×
11 月		建国記念の日	×	×	×
12 火 B		火①②④⑤⑥③ 三者面談(3年 5) 試験前入室制限(3 年職員室)・調整期間 安全点検日	○	○	○
13 水 B		水①②③⑤⑥+金⑤	○	○	○
14 木 B		学校保健委員会	○	○	○
15 金 B		月①~⑤+金⑥ 特別日課	○	○	○
16 土			×	×	×
17 日			×	×	×
18 月 A		木⑤火③⑤①② 朝礼 三送会実委(3) 入学願書・調 査書・学習の記録等一覧表等の提出期間	○	○	×
19 火 A		月①~⑤+木⑥ 学年末テスト(3年) 入試書類提出 日 食育の日	○	○	○
20 水 A		学年末テスト(3年)	○	○	○
21 木 A		木①~⑤+火④ 試験前部活動停止期間(~3/1朝)・入室制限 (~3/4) チャレンジスクール(~2/27) 志願先変更期間	○	○	○
22 金 A		志願先変更期間 C・S	○	○	○
23 土		C・S NO T・G	×	×	×
24 日			×	×	×
25 月 B		特 月①~⑤+木⑥ C・S	○	○	○
26 火 B		C・S ⑤2年・⑥1年朗読練習	○	○	○
27 水 B		⑤公立直前注意 C・S	○	○	○
28 木 B		県公立学力検査(木①②③④) 学年末テスト(1・2年)	○	○	×

学校教育目標

「心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ生徒の育成」
 ○よく考える生徒 ○和を大切にする生徒 ○心身を鍛える生徒

◇授業日数 12月—15日 1月—18日 2月—19日

◇安全点検の結果 12月 特に異常はありませんでした。

◎さいたま市「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーン

毎月19日は、食育の日『早寝・早起き・朝ごはんデー』です。朝ごはんをしっかりとりましょう。

毎月23日は、『ノーテレビ・ノーゲームデー』です。子どもがお手伝いをする機会をつくりましょう。

11・12月の様子

薬物乱用防止教室 11月30日

薬物乱用の有害性・危険性について理解し、適切に対処する力を付けるために、薬物乱用防止教室を実施しました。薬物乱用は、好奇心や投げやりな気持ち、過度なストレス等心理状態によって安易に手を出すことから始まります。また、周囲の人々の影響や人間関係によって断りにくい心理が働いたり、ウソの情報を信じてしまったりすることで助長されます。そうしたさまざまな危険性をさいたま市薬剤師会会長の近藤正直氏が、わかりやすく教えてくださいました。



人権に関する講演会 12月 4日

12月10日は「人権デー」であり、その前の1週間を人権週間として世界中で人権について考えることとしています。本校でも人権標語や人権作文への応募、ポスター掲示、戦時中の食事体験など様々な取組を行いました。そのなかで、最近テレビや雑誌などでも取り上げられることの増えた「LGBT」をテーマに、進藤夏葉さんをお招きして講演会を行いました。性的マイノリティーについて等まだまだ知らないことばかりでしたが、多くのことを学べるよい機会となりました。



終業式 12月21日

早いもので2学期の終業式を迎えました。少しずつ風邪等による欠席者が増えているところだったので、心配していましたが、なんとか無事に行うことができました。校長式辞のあと、冬休み中の生活についての諸注意を行い、1年を締めくくりました。

表彰

◇平成30年度さいたま市人権標語・作文募集

優秀賞 田中 智咲

入選 米原 夏海 畠田 菜乃子 久保田 真佑 飯嶋 麻琴 松尾 美希

三好 乃愛 安斎 美穂 池田 史帆

◇平成30年度全国中学生人権作文コンテスト

埼玉県大会さいたま市人権擁護委員会地区予選 入選 畠田 菜乃子

埼玉県大会さいたま地区予選 入選 藤貫 雄大 西 紘陸 小沼 愛華 八色 悟史

◇第16回さいたま市児童生徒作文コンクール

優秀賞 森田 結羽 樋口 純香 橋本 由茉

入選 星野 結 佐伯 桜子

佳作 陳 夏薇 李 依遥 藤貫 雄大

◇第53回郷土を描く児童生徒美術展

特選 田中 明日香 北田 恵一

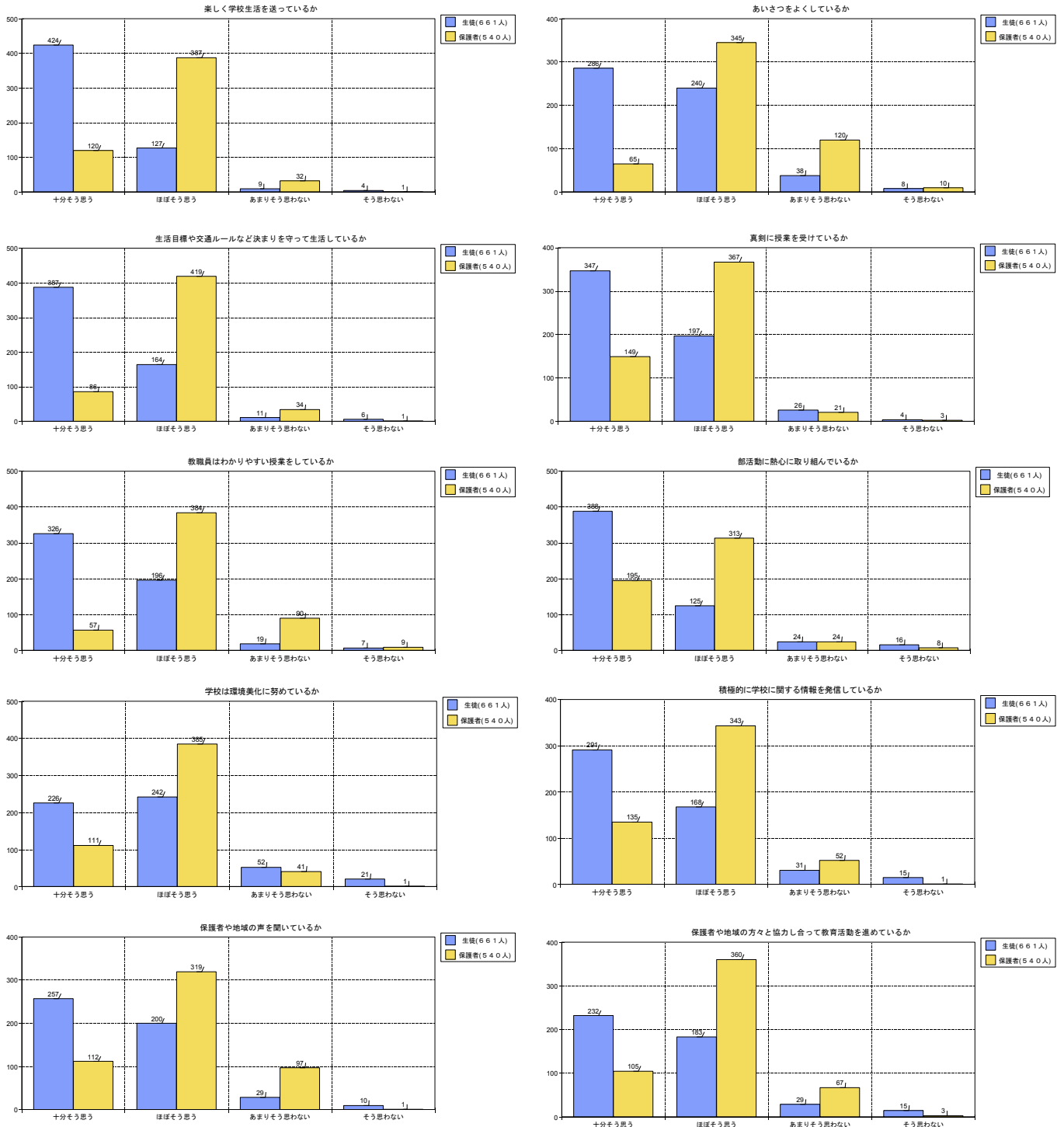
入選 松尾 美希 神野 天音 角田 大和良 熊田 寿

◇平成30年度県民の日記念絵画コンクール 知事賞 北田 恵一

◇読書マラソン1万ページ達成記念 西井 月菜

平成30年度 学校評価のまとめ

今年度より、学校評価の保護者アンケートを「学校安心メール」を利用して配付いたしました。11月29日～12月13日の間に回答いただいた約540人分と11月19日～30日の間に生徒アンケート約661人分をそれぞれ分析し、現在改善策を検討しています。また、2つの結果の比較することでさらに教育活動の見直しや改善に役立てていくことができると考えます。保護者の皆様にも確認していただくと助かります。



どの項目も、生徒は70%以上、保護者は75%以上、「十分そう思う」「ほぼそう思う」と好意的な回答であり、生徒の行動、教職員の姿勢、本校の教育活動についてのおおむね理解が得られていると感じます。

一方、生徒の実感と保護者の見方に多少の差があることが分かります。例えば「楽しく学校生活を送っているか」という問いに、生徒の64%は「十分そう思う」、19%は「ほぼそう思う」と回答しているが、保護者の「十分そう思う」は22%にとどまり、「ほぼそう思う」が72%となっています。全体的には楽しく学校生活を送ってはいるが、十分なのかある程度なのか、感じ方に差が見られました。他の項目でも同様の傾向が見られました。引き続き結果を分析し、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。アンケートへの御協力ありがとうございました。